

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立春日出小	学校	児童数	52
----------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.28	16.83	30.45	38.34	37.52	9.99	152.21	17.93	48.22
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	15.95	16.82	34.76	36.50	30.45	9.96	145.91	13.55	51.52
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

体力合計点で、男子は全国平均を4.31ポイント下回り、大阪市平均を2.91ポイント下回った。女子は、全国平均を2.4ポイント下回り、大阪市平均を0.95ポイント下回った。

「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答においては、男子の「好き」と回答する割合が全国平均・大阪市平均をそれぞれ0.6%、1.9%下回っており、女子の「好き」と回答する割合がそれぞれ9.3%、7.5%下回っている。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子は全国平均・大阪市平均を約7%上回ったが、女子は全国平均・大阪市平均を約4%下回るといった結果だった。

測定種目別に見ると、男子は立ち幅跳びで全国平均・大阪市平均を上回っている。しかし、立ち幅跳び以外の種目は、全て全国平均・大阪市平均を下回った。特に、長座体前屈、20mシャトルランで大きく下回っていることがわかる。女子は握力、立ち幅跳び、ソフトボール投げで全国平均・大阪市平均を上回っている。男子と同じく、長座体前屈、20mシャトルランで大きく下回った。

この結果から、男女で差はあるが、どちらも「跳ぶ力」は向上していることがわかる。一方で「持久力」「柔軟性」に課題があると考えられる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度も、前年度と同様に、運動委員会を中心に児童の体力づくりに取り組んだ。体育の学習中だけでなく、休み時間にも児童が外へ出て、楽しく体を動かすことができるように「春日出みんな遊び」を運動委員会が考えて実施した。「春日出みんな遊び」では、休み時間に低学年・中学年・高学年に分かれて「ふえ鬼」を行った。遊びで「ふえ鬼」を選ぶことで、全員の運動量を楽しみながら確保した。また、運動場に新たに、鉄棒の逆上がり補助台や砂山を設置することで、積極的に運動場へ遊びに行く児童が増えている。

1月は、「体力づくり月間」とし、1か月間全学年でリズム縄跳び、縄跳びの個人技、持久走、大縄などに取り組んだ。また、同月に2週間「なわとび週間」を実施した。「なわとび週間」では、サザエさんの曲に合わせて、3分間決められた技を跳び続けた。このように、体育の時間や15分休みで「持久力」を鍛える運動を1か月間続けたことによって、児童の「持久力」が向上した。今後も、この取り組みを続けていく。

今後も上記のような取り組みを続けていくとともに、教員、運動委員会を中心に、児童の運動時間が増えるような取り組みや、運動能力が向上する運動を授業に取り入れていく必要がある。